

潮風にのせて

vol. 51

思考停止しない事業評価

香々地青少年の家で実施する教育事業には、受け入れ事業と主催事業の2つがあります。

受け入れ事業とは、学校をはじめとする団体が行う宿泊体験活動です。団体には指導者や代表者が存在し団体構成員を引率しています。団体の設定するねらいにそって打ち合わせをしながら活動を決めていきます。事後アンケートは指導者・代表者等の大人が記入します。

主催事業とは文字どおり香々地青少年の家が募集をかけ、参加者を募る事業です。そのため、指導者・代表者は青少年の家職員です。主催事業の対象年齢は様々ですが、子ども対象の場合は子どもが事後アンケート記入します。

事後アンケート結果について、ある上司から言われたことは、「体験して楽しかったら評価が良くなるのは当たり前（そこで思考停止するな）」でした。

そこで、いずれの事業も成果と課題を出す際には、数値化はもちろんのこと、文字で表現する部分も重要視しています。文字化して

初めて、数字に出ない、自分の力量等に気づくことがあるからです。

「こんなありきたりのことしか見えていない」
「うまく言い表せる概念があるのか」
「どんな研修を受けるべきかな」
「この意見を深堀すると何が見えるのか、職員に諮りたい」

等に思い至ってほしい、次のステップを自ら探求してほしいと願い、担当が作成した事業報告書とアンケート結果には時間をかけ読み込み、次につながるような書き込みを心がけています。

今年度のアンケート結果、特に学校対象の受け入れ事業では、職員の対応満足度はどの項目も8割を超えたものの、活動実施による「目標達成」と回答した学校数は昨年度より減少し、厳しい御意見も多々ありました。

これらの御意見を厳しく受け止め、来年度事業に生かす準備は着々と進んでいます。

来年度も香々地青少年の家への御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

所長 須股 恵美子



報告 外部評価の結果

2月20日に施設運営協議会を開催し、事業報告の後、外部評価を実施しました。アドバイザーの皆様からは、「目標をほぼ達成されていて素晴らしい。これからも社会教育施設の中心として施設の運営をしてほしい」「入所の受入れだけでなく主催事業もたくさん実施している。事業の見学や参加もしてみたい」や「所員の方が体を休めるための休暇を積極的に取得してもらいたい」などのご意見をいただきました。外部評価は施設の達成指標に位置づけています。

令和6年度香々地青少年の家重点目標

	結果
◆達成指標1 外部評価S Aの割合 80%	91.6%
◆達成指標2 集団宿泊学校目的達成 +10%	98.2%
◆達成指標3 所員の目標管理達成 80%	100%



事業報告

生涯を通じた障がい者の学び支援事業

～かかぢワンデイキャンプ～

香々地青少年の家では、学校卒業後における障がい者の学び支援～かかぢワンデイキャンプ～を10月から実施しました。本年度は5施設約130名（施設職員含）が事業に参加してくれました。バスに乗って来所される施設もあって、降車後は「とても楽しかった」「景色がいい」「久しぶりに来た」などの声をかけてくれる利用者さんもいました。

活動内容は写真たて、所内散策やペタンク、プラネタリウムなどをしました。写真たてづくりでは、松ぼっくりやドングリ、シダーローズなど思い思いに取り付けていきました。バランスよく取り付ける方、一点に多く盛り付けている方、写真が「ちょい見え」するように飾り付けをする方など、個性があふれる作品を制作しました。所内散策でも、海に向かって叫んだり、木々や葉っぱに詳しい方がいたり、「ミツマタってお札になる」と物知りな方もいました。プラネタリウムでは、季節の星座や惑星についての話を聞いて、「星がとてもきれいだった」と感想を持つ方も多かったです。今後は週末や祝日などの余暇活動として、香々地青少年の家を利用してくれると嬉しいです。



週末講座 「しいたけのコマ打ち体験教室 & たき火体験」

2月2日（日）に週末講座「しいたけコマ打ち体験教室」を開催しました。今年、子どもから大人まで32名の方が参加してくれました。事前に職員で根倒しや玉切りなどをして準備したクヌギの原木180本に、約3500コマを打ちました。打った重い原木を家族で協力して運搬するなど、丁寧に集中して作業を行っていました。

コマ打ち体験が終わった後は、たき火でおやつタイム。それぞれで用意した材料で、「焼いも」や「じゃがバター」を作ったり、「焼きマシュマロ」や「ウインナー」を頬張ったり、至福のひとときを過ごしていました。原木数本もお持ち帰りいただきました。

今回コマ打ちをした分は、再来年の冬あたりに可愛いしいたけが出てくるかと思えます。楽しみに待ちましょう！



すいみひろのり
指導は 水海博徳 先生



県青少年教育施設協議会

1月24日に九重青少年の家・のつはる少年自然の家・香々地青少年の家の所員が集い、大分県青少年教育施設協議会を開催しました。開会行事・総会の後、各施設の事業報告を行いました。大分大学大学院教育学研究科、高橋徹弥准教授による、「社会教育に活かせる特別支援教育の知識と視点」についての講演と実技研修モルックを実施しました。青少年教育施設の使命や今後の在り方について理解を深めました。



視察研修

2月17日に佐賀県からNPO法人みんなの森プロジェクトの方々が見察に来所されました。午前、香々地青少年の家の取組を紹介しました。午後は、実際に施設を見学していただいた後、食堂・総務・指導の3グループに分かれて両施設の情報交換を行いました。どのグループも時間が足りないくらい語り合ったため、お互い刺激を受けて、学びの多い1日となりました。



#百聞は一見に如かず
【フォロワー大募集！】



Facebook



Instagram

香々地青少年の家の公式アカウントでは、日々の活動の様子をシェアしています。

#香々地青少年の家ってどんなことしてる
#美しい自然の写真たくさん
#見たら行きたくなる

あと少して1000人達成！
フォローお待ちしております！

○人事異動のお知らせ

3月の人事異動で 8名の所員が退職・異動することになりました。また4月から新たなステージで活躍してくれることと思えます。

首藤栄蔵
藤川明文
柏木淳子
徳丸亜希子

・宇佐土木事務所
・大分県立九重青少年の家
・大分県立図書館
・大分県立宇佐支援学校

山森佳代
高嶋光美
江口重男
財前宗夫

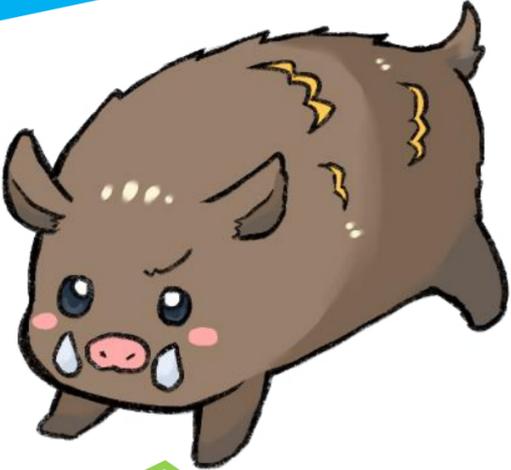
・宇佐市立八幡小学校
・退職
・退職
・退職

香々地青少年の家 オリジナルキャラクターのご紹介

このたび、いのぴー・もしか・たぬぽんが香々地青少年の家オリジナルキャラクターの仲間入りをしました。オリジナルキャラクターたちは、香々地青少年の家で会うことができます。新キャラクター誕生に合わせて、香々地青少年の家オリジナルキャラクターをご紹介します。

新キャラクター紹介

いのぴー



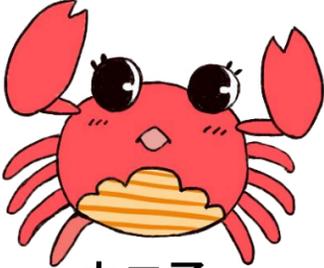
みんな
おぼえてね!



もしか

会いに
きてね!

たぬぽん



カニ子



やもり大使

マリンスターズ



クワのん



カブたん



ビビ



ラビ



ヤマモモちゃん



そら&うみ

キャラクターはすべてイラストレーターの四倉光代さんにデザインしていただきました。



メールマガジン
会員募集中!
kakadi@mamail.jp

海と星のミュージアム
大分県立香々地青少年の家
TEL: 0978-54-2096
FAX: 0978-54-2152
E-mail: a31514@pref.oita.lg.jp